WEST LIFE　校長の目

令和7年5月15日（木）

まず、昨日の話題から。

６校時に専門委員会が開かれました。本校には、全部で８つの専門委員会があります。学級委員会、生活委員会、環境委員会、保健給食委員会、放送委員会、図書委員会、体育委員会、そして JRC 代表委員会です。前期・後期の二期制ですが、委員の再選は妨げません。昨日は、体育祭に向けての仕事分担と生徒総会第２号議案（専門委員会の活動目標・活動方針・活動計画）の作成が主な活動でした。学校教育における委員会活動は、特別活動の領域となります。異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るため、諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことをねらいとしています。

国語の授業で硬筆展に向けた取り組みが始まりました。体育祭の練習等で忙しい毎日ですが、心を落ち着けて、集中して文字を書くのも、良い学習です。写真は、１年生です。お手本は、手紙文でした。拝啓から始まり、敬具で終わる手紙です。国語の先生は、「ただ丁寧に書くだけでなく、内容をよく理解することで、よりよい字が書ける」と話していました。現代の伝達手段は、メールやＳＮＳ等、デジタルによるものが主流で、時間も手間もかからず効率的なのかもしれませんが、だからこそ手書きで手紙を書くことが貴重であり、人柄が表れるのかもしれません。硬筆展の取り組みを通して、書くことの価値を見直してほしいと考えます。ちなみに、硬筆における小学校と中学校の大きな違いは、鉛筆からペン書きになることです。どちらの筆記具であれ、間違えないよう丁寧に書くことは同じですが、ペン書きの方がより一発勝負感が強くなります。本時も、みな集中して書いていました。

体育館では、３年生が跳び箱運動に取り組んでいました。体育祭練習期間中ですが、授業はそれだけなく、年間計画にそった様々な運動に取り組みます。本時は、台上前転や頭跳ね跳びといった回転系の技でした。跳び箱の技には大きく分けて、切り返し系と回転系があります。切り返し系は、開脚跳び抱え込み跳びなどです回転系は、本時のような台上前転や頭跳ね跳びなどです。切り返し系にしても回転系にしても、テンポの良い助走と強い踏み切りがポイントです。跳ぶことに恐怖感を覚えると、どうしても踏み切りが弱くなるので、怖さを取り除くために、スモールステップで練習します。本時も、マットを丸めて、その上で回転するなど、場の工夫を行っていました。